

# 小笠山

～海岸の植物と山地の植物が同じところに生えている～



小笠池と山頂の小笠神社

## 小笠山について

小笠山は、JR掛川駅と袋井駅の南側に広がる小高い山全体についた名前です。山頂は海拔246mで、1300年前に開かれた小笠神社があります。

山には、いくつもの登り道がありますが、入山瀬地区から小笠神社に登る道は、よく整備されて便利です。

## 自然観察の見どころ

小笠神社付近の崖は、川原にあるような丸い石で出来ています。これは約100万年前に大井川で堆積したものが隆起して小笠山が出来たためといわれています。

小笠神社周辺から多聞神社までの林は、一年中緑の葉を付けた常緑樹が多く見られます。中でも海岸に生えるウバメガシと小笠山より海拔の高い山に生えるアカガシが同じところに生えるのは、珍しいといわれています。



## 小笠山はシダ植物の宝庫

山頂から見える小笠山の北斜面には、急な崖と深い谷が多くあります。

そこはシダの育つのによい気温と湿度等の条件がそろっているため、たくさんの種類のシダが生えています。南の地方に生えている種類や、もっと北の地方に生えている種類など、今まで176種類のシダが見つかっています。



オオバノハチジョウシダ  
大きいものは2m以上になります



## 交通アクセス

JR掛川駅よりバス約20分(静鉄バス大坂線)

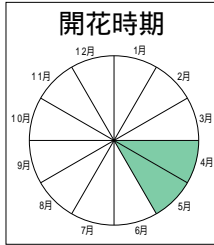
小笠山入口下車 徒歩約15分

JR掛川駅より車約15分

# 小笠山の観察ルートと観察ポイント

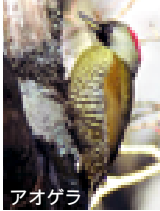
## アカガシ

標高がやや高い所によく見られます。秋にどんぐりがつきます。



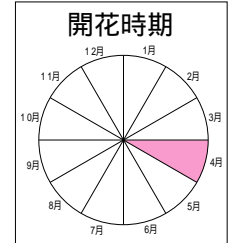
## 小笠神社の アオゲラの巣穴

アオゲラ(キツキの一種)は、くちばしで木などに穴を掘り、穴の中で子育てをします。小笠神社の壁にも巣穴が見られます。



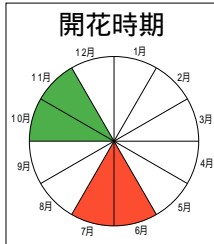
## モチツツジ

花の根元をさわるとネバナバするので、この名前がつけました。ネバツツジともいいます。



## ツクバネ

羽子板の羽根に似た実がつきます。他の植物の根などに寄生して栄養分を吸い取ります。

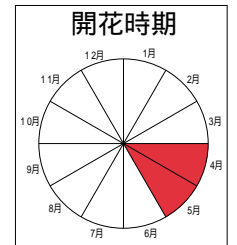


花の時期 6~7月  
実の時期 10~11月



## ウバメガシ

若葉が茶色いことから名がつけました。備長炭の材料として有名です。

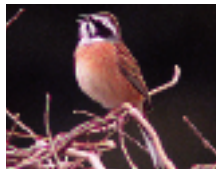


## 主に見られる鳥



ヤマガラ

体長約 14 cm  
「ツーツーピー」とゆっくり繰り返してさえずります。



ホオジロ

体長約 16 cm  
さえずりは「一筆啓上仕り候」と聞こえます。